

想いは♡千に寝取られて

修学旅行援●編

バラされたくぬければ

僕と付き合ってくれる?

合箱project

基本 17 枚

僕は蟹江誠（かにえまこと）
顔はそこそこな気がするけどまったくモテない
決してイケてる男子とはいえないクラスの3軍だ
理由は自覚している
ちまたではコミュニケーション障害と
言うんだろう



頭の中では
「ああ言おう」「こう言おう」と
考えてもうまく言葉がでてこない
そういう性格あってか友達が少ない
当たり前のことだ

似たような奴らで集まって
そいつらと毎日同じ会話するだけ
気がつけば、あっという間に高校3年生
このままじゃだめな気がする…





わたしの名前は
奏一華（かなでいちか）

周りからは容姿端麗、才色兼備なんて
言われているけど、どうなのかな
自分じゃわからない…
誰よりも努力してるだけ

定期的に運動したり、食事に気を遣ったり、早く起きてきれいに化粧したり、いろんなコスメを試したり。ただそれだけ…

みんなと仲が良くて、毎日笑ってる…充実している。それはそれですごく楽しい。でも、全然満たされてる感じがしない…

どこかで刺激を求めているわたしがいる…



僕には片想いしている子がいる

その子の名前は奏一華（かなでいちか）

誰もが知っているクラスのマドンナ…
いや、学校中のアイドルだ
昔からモデルの仕事をしているみたいで
ちよくちよく学校を休んでいる
有名雑誌の表紙にもなっていることがある
うちの学校の超有名人だ

告白した男子は後を絶たず
でも、誰かと付き合っていると
そんな噂を聞いたことがない
「僕にもチャンスが…」
なんて勘違いしてもおかしくない



僕が恋に落ちたのは、高校1年生のときだ
学校の廊下でたまたま目があって
にこって笑ってくれた
ただ、それだけ…恋は唐突とはよく言うが
その通りだった

ただ、それだけ…
恋は唐突とはよく言うが
その通りだった

高校3年生になって
初めて同じクラスになった
でも、なかなか話すタイミングもなければ
そんな勇氣もない
高嶺の花とはこの子のことを言うんだろう





いまの僕じゃ絶対無理だ…

人生を何回りセマラすれば、
奏一華と付き合えるのだろう

みんなに明るく振る舞ってる女子は
だいたい無理してると思う
私もその一人

学校よりもアルバイトしてるときのほうが
いまは充実している
アルバイト中だけはなぜか
自然体でいれるから

何をやるにもお金が必要
至極簡単な考え方





わたしは空っぽなの…

告白されてもドキドキなんてしたこともない…

いまは誰とも付き合う気にもなれない
付き合っても結果はみえてる
最終的に相手を傷つけてしまうだけ

ある日のホームルーム

おはよう
いよいよ来週修学旅行だ。
チェックリストを配るから
忘れ物ないようにっ

いつも以上にみんなの表情が明るい
高校生最大のビックイベントに
クラス中が浮かれてた





注意事項などの説明は上の空で
みんなの頭の中は旅行先の
沖縄のことで持ちきりだった

浮かれすぎて
ケガなんかするなよ

二人を除いては…







絶対告白する...

絶対告白する...

絶対告白する...

このお祭りのようなイベントを活かして
絶対告白する
そう決意を固めていた

A man with dark hair, wearing a white shirt, is sitting in a blue airplane seat. He is looking out of a window at a bright blue sky with white clouds. A speech bubble is coming from the window.

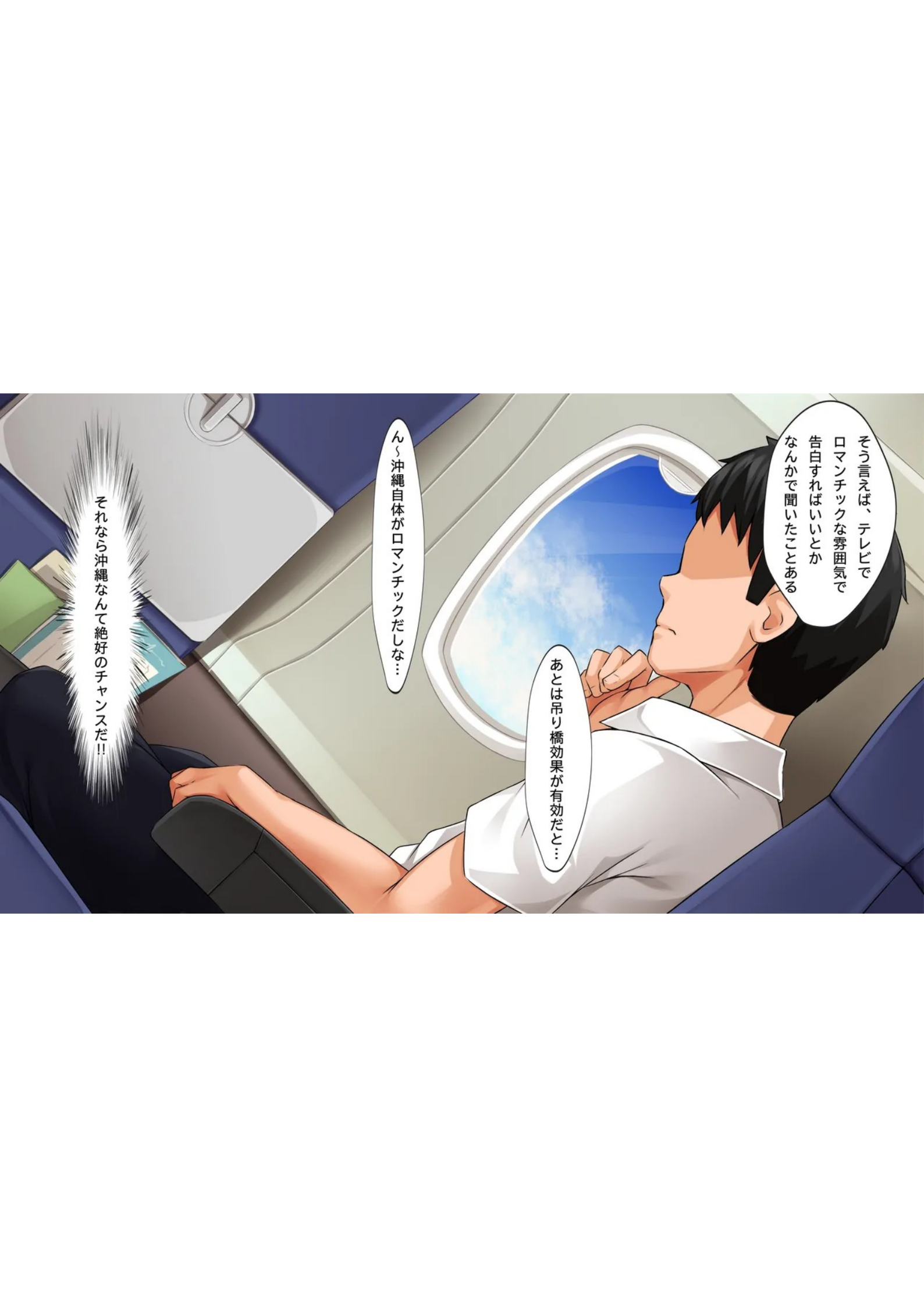
この機会を逃したら
もうチャンスはない気がする…

高度一万フィートで幸運のグローリーは
発見できなかったが、
希望の光は見つけた気がした



でもいじやないやうやうって
告白じゃう...

今まで告白なんてしたことない
タイミングがまったくわからない
そんな当たり前の悩みに振り回されていた



そう言えば、テレビで
ロマンチックな雰囲気
告白すればいいとか
なんかで聞いたことある

あとは吊り橋効果が有効だと…

ん〜沖縄自体がロマンチックだしな…

それなら沖縄なんて絶好のチャンスだ!!



はじめてだよっ
すごく楽しみにしてた

……だよね
行ったことあるの？



撮影で飛行機は何回か
乗ってるけど
全然慣れないね…

私は飛行機自体はじめてだよっ
結構揺れるね…





いま飛行機が慣れないって聞こえた

これって吊り橋効果的には
チャンスなのかな？

でも、みんな見てる前だしな…

結局告白はできず
答えのない自問自答を繰り返し
沖縄に到着した

空の旅も束の間
一行はホテルに到着した

集合ーっ

ちゃんと全員いるか？



潮の匂いが漂うなか
ホテルの部屋割や注意事項など
説明していた

男子は2階〜4階
女子は6階〜8階部屋だっ

思春期の男子はくれぐれも
勝手に女子の部屋に行くんじゃないぞっ



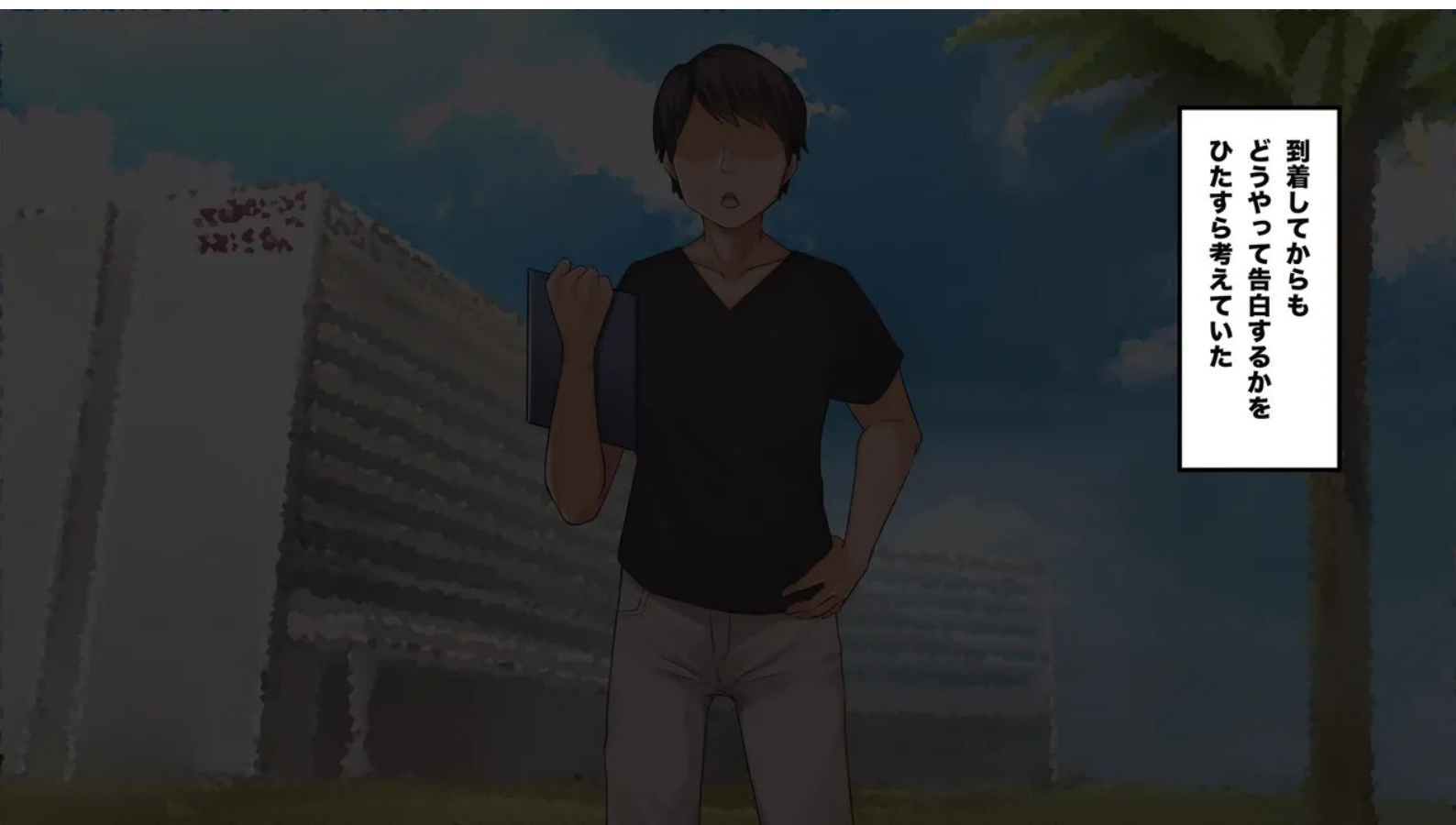
教員は5階で俺の部屋は501号室だからな

とりあえず荷物置いて
1時間後にロビーに集合だ

ああ、あと冷蔵庫にあるものは
勝手に飲んだりするなよー
ルームサービスはねえからなっ



到着してからも
どうやって告白するかを
ひたすら考えていた



はあ…
全然落ち着かない…

ぐうやうて告田すればいいか…

コーラでも飲んで落ち着くか…

おいっ！
それ飲んだらダメって言ってたぞっ

えっ？

さっき先生が言ってたやつ！
おまえ聞いてなかっただろっ

全然聞いてなかった…

怒られる前に謝りに行ったほうがいいぞ！
先生の部屋は501号室って言ってたぞっ

お、おう…

間違っても6〜8階の
女子の部屋なんか行くんじゃないぞ！

い、行かねえよっ

先生に謝りに行くため
501号室に向かった





まさか僕と同じで
勝手にコーラを飲んじったとか？

そんなわけないよなっ

じゃあどうしてここに…

あたりを伺ってるし、おかしい気がする…

501 ~ 504

キョロ
キョロ



えっ
いま入っていった…

部屋を間違っちゃった可能性もないよな

誰の部屋だろ…

503 ~ 504

ギョ



なんでここに秦さんが？

いまここに入ってしまったよな…

501号室…
ここって…
先生の部屋だよな…

えっ



僕も先生に用があるから
入っていいよな...

501号室...
間違いなく先生の部屋...



いやでも、用事があったかもしれないし…

ちょっと待ってておっかな…

コーラ飲んじやったしな…

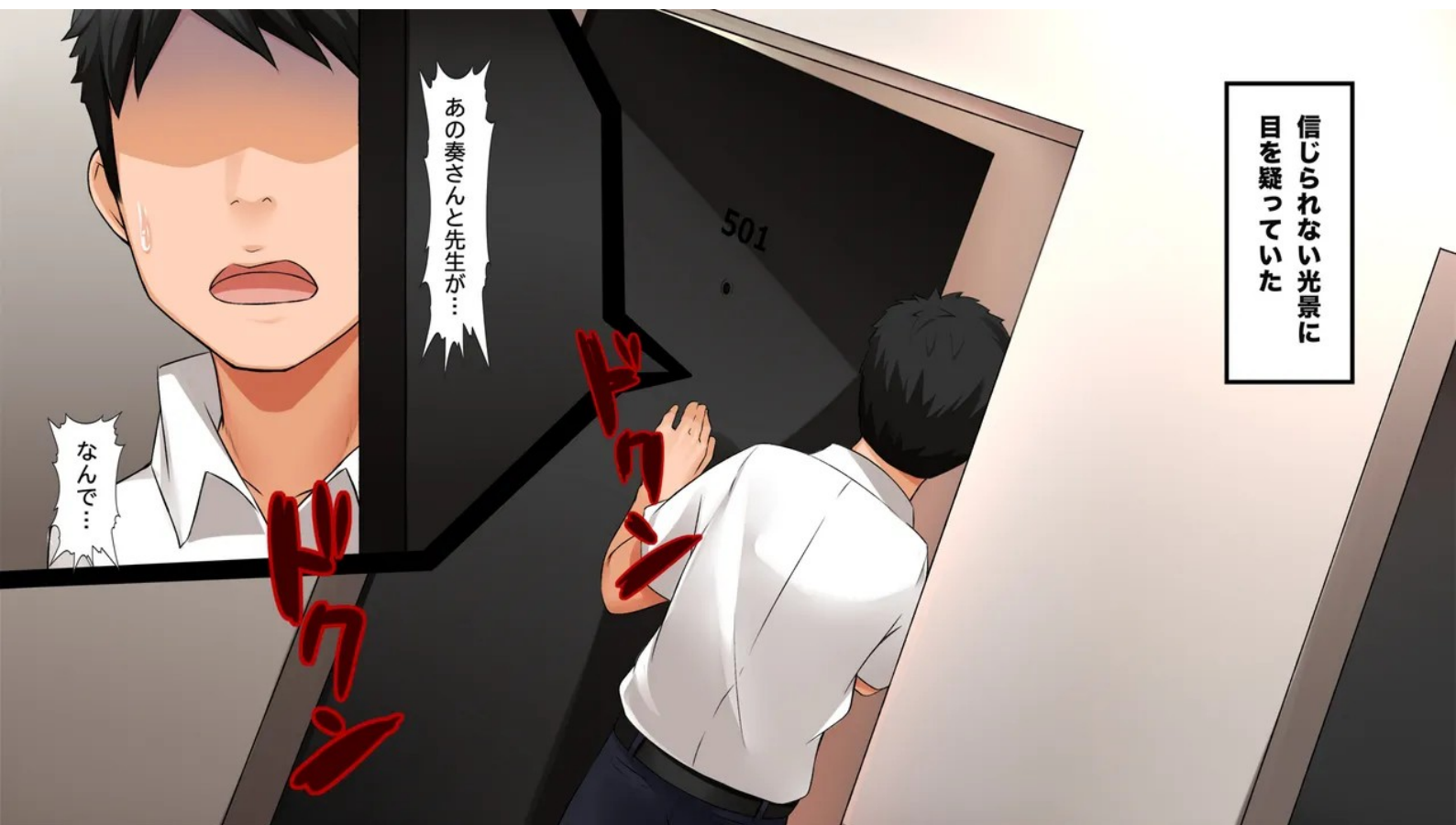
ちょっとだけのぞいてみよ…





なんで先生と奏さんが!?

奏さんと先生?
あれってキス!?



あの奏さんと先生が…

なんで…

信じられない光景に
目を疑っていた





濃厚なキスに夢中になっていた



相変わらずいやらしい
舌だな

ぐいっ

はぁ♡

んっ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡



あん♡

いやーいいおっぱいだなっ

はま♡

いや...♡

りゅ りゅ

おっぱい♡

こんなところ誰かに見られたら大変だな

はま♡

はま♡



りり

はま

うう

乳首ばかりだめ…

乳首も勃ってきたぞ

むにゃ

しこりのない良いおっぱいだっ

はま

はま







あんなに舌入れて…



ええっ
奏さんのおっぱいを…



あの奏さんが...

ありえない
絶対何かの間違いだ...



今度はわたしの番ね♡

おっきい...♡

おしゅ

おしゅ



あったかい…

裏筋がコリコリあたる♡

いっぱい気持ちよくしてあげるね♡

うんうん

おしゅ

おしゅ



すごいビクビクしてる♡

あああつ

んっ♡

んっ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡







すゆい♡

また大きくなった...

う...う

ふわふわ

ふわふわ

ふわふわ

んん♡

イキネ...う...





はあはあ...

すゆい♡

いっぱいだ...♡

は♡

は♡

ジュッ

ジュッ

すごいまだ出てる♡

は♡

はあはあ...



お顔にいっぱいかっちゃったよ♡

まっ♡

まだまだ元気♪

は♡

は♡

は♡

さすが先生♡



そうすればいいんだ…

奏さんがあんなこと
するなんて…















ああーん♡

ああああ...

...うんうん

ジュジュッ

ジュジュッ

ジュジュッ

ジュジュッ

ジュジュッ







突然訪れた目の前の光景に
冷静になった

えっ？

お金？

純愛でもなくお金の関係？





そんなことあつてたまるかよっ

ぐずっ

僕がずっと憧れていた奏さんは
身体をお金で売っていた…





今日のアルバイトも楽しかったな♪

あーっ、そういえば
そろそろ集合時間だっけ…？

ん？



それはラブレターとはかけ離れたものだった

またラブレターかなー？

なんだろう…

奏一 華





内容をみた瞬間、全身に戦慄が走った

先生との秘密を知っている。

バラされたくなければ、“先生とお楽しみ”
だった501号室に來い

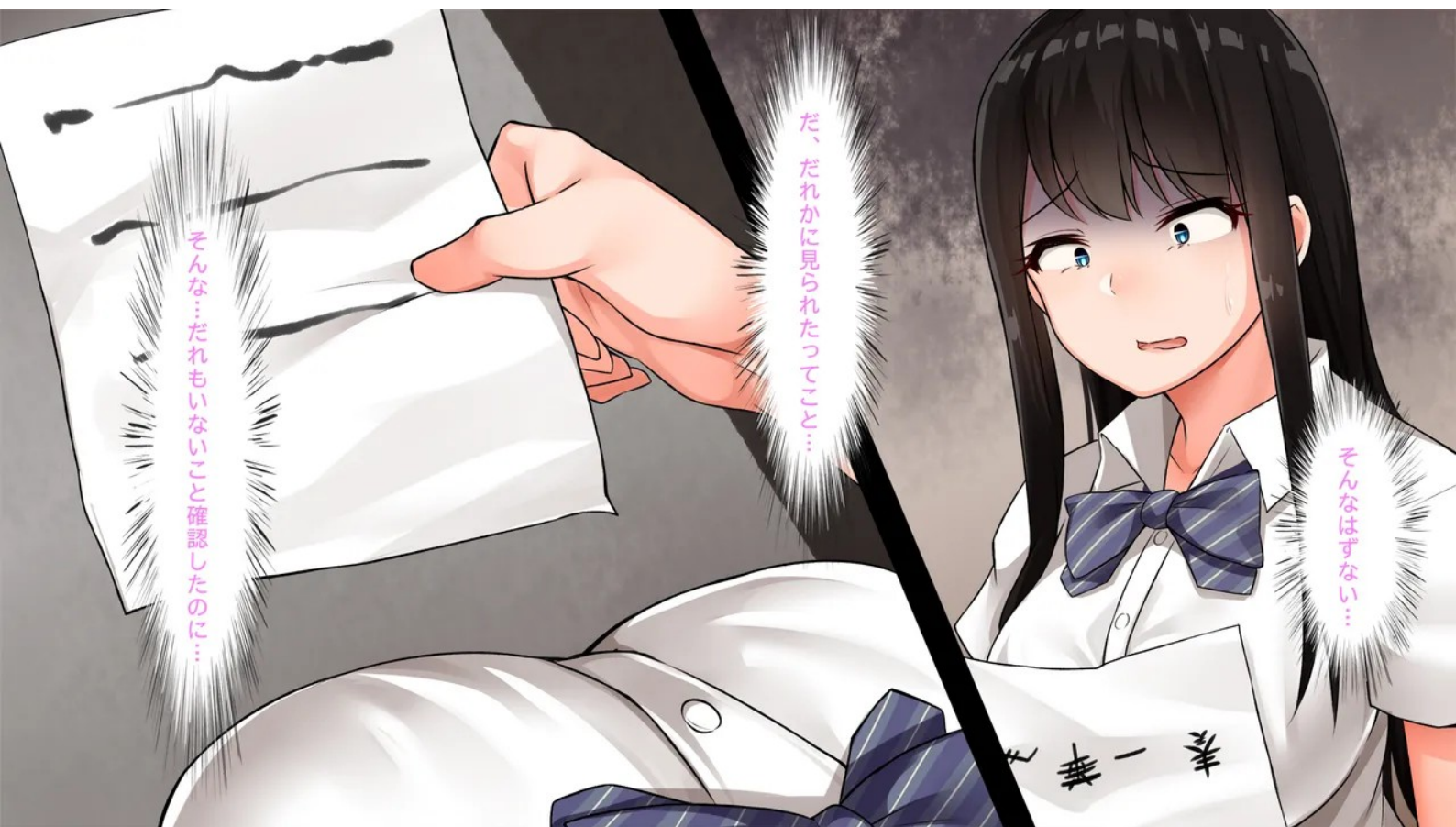
え...



誰がこんなこと…

先生のいたずらってことなのかな…

もう集合時間なのに…？







人生初めての脅しに
動揺を隠せないでいた

ま、まだ…

まだ、バレてないってこと…

それに先生の可能性もあるし…



そんな微かな希望を持って
指定の部屋に向かった

重い足取りで指定の部屋の前にたどり着いた



自分を信じ込ませても
一歩を踏み出せないでいた

きっと先生がいる…

大丈夫…

大丈夫…

大丈夫…

そんな自問自答を繰り返し
自分を騙していた



微かな希望を持って
ドアノブに指をかけた

もう引き返せない…

おねがい…

先生でいて…

そして重い一歩を踏み出した



そこには同じクラスの
蟹江誠（かにえまこと）がいた

えっ…

同じクラスの…

か…かにえくん？

知っててくれたんだね…

うれしいよっ





伝えたいことがあって…

急に呼び出してごめんっ

ドキッ

ど…どうしたの？

恐る恐る本題に触れた

て…手紙の…？

…あってくださいっ

えっ？

ほ、ほんと…

付き合ってくださいっ！





奏さんのことがずっと好きだったんだっ

うん...

だ...だめかな...?

わ...わたしと?

.....っ?

予想外の言葉に驚きを隠せないでいた

手紙のことばかり気になり
告白は届いていなかった

て…手紙を書いたのはあなた…？

そうだよ

ど、どうするつもりなの…？

そんなことよりぼくの人生初めての
告白の返事を聞かせてほしい…

ドキッ





突然出てきた証拠に言葉を失った

.....
っ

この動画をばらまいてもいいってこと？

こんないやらしい姿みたら
クラスの人などと思うかな？

あの才色兼備な奏さんが
担任の先生となんて...







それはほんとにちゃんと
付き合っつもりがあるって
証明できたらねっ

うん...
だからその動画は消してほしい...

本当？

かにえくんと付き合っ...



突然のことに抵抗がなかった

みちゃ〜♡

んんん……っ

!?





舌がからんでくる...

.....っ

れろっ♡

経験がなかったが復讐心から
自分の欲望をむき出しにした



生のものは全然違うねっ

はあはあ

んっ

むぎゅっ♡♡

たっぷり可愛がつてあげる





感じてるのがよくわかるよっ

乳首がピンピンだねっ

乳首はっかりだめ...

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡







次はこっちだっ

んぶっ!!

ふちゃっ

!!
ビクッ

んぶっ!!

んんんっんじゅっ

んぶっ!!





はじめての快感に口調が荒くなる

ほらっ

もつと動けっ

あふう

んんんッ

じゅわん

しっかり舌も使えっ



自分で動けっ

気持ちいいぞっ

んんっ!

んっーッ

イキそうだった

んんっ!?!







一度精液を吐き出したのにも関わらず
まったく萎えないペニスを擦り付けていた

触つてもないのに
こんなに濡れてるなんて
淫乱な女だなっ!!

はあ

はあ

そ...それだけはまだめ...

お願い...もうやめて...

んんんッ



黒い感情に支配され
性欲にも支配され歯止めが効かない

一気に奥まで入れるぞっ

これだけ濡れてたら
すぐに入りそうだった

たら〜...

あつ

だ...めっ

んんッ

あつ



黒い感情に支配され
性欲にも支配され歯止めが効かない

はんツ

才色兼備が
聞いて呆れるぜっ

すんなり入ったなっ

ああっあああっ!

だめっ奥まで入ってくるっ

シューッパッパッ...









出すぞッ!!

あつだめ...

はああ♡

はうんっ♡

はー♡

おにゅ♡

あつあつ

あつあつ

あつ

もうだめええ♡

あん♡

イクぞっ!!

はー♡

はー♡

ニゅっ♡

フキゅ♡

ニゅっ♡

ニゅっ♡

フキゅ♡





ぬぐっ!!

はまだだいくぞっ

はあはあ

はあはあ...

はー

ふー

ふー

はあはあ

ふー

はー

ふー

どろろ...



まったく萎えていないペニスを後ろから挿れた
お互い少しずつ快楽に溺れていった

まだまだやり足りねえぞ

はー♡

後ろからだめえ♡

まだおっきい

ズズズズ

あーっ♡
あっあっ♡

はー♡









そこから何時間たったかわからない

すごく感じちゃうの...♡

この体勢だめ...

まだおつきい...♡

まだこんなに濡れてやがるっ

ああああん

ジュグググ...





はー♡

あっあっ♡

あああああああっ♡

はー♡

だめ♡

はー♡

あん♡

はー♡

あっあっ♡

もっと強さっ♡

あっあっ♡

はー♡

はー♡

はー♡

はー♡

こんなの始めてええええ♡



あはっ♡

はっ♡

あん♡

はっ♡

いやあん♡

気持ちいいよおお♡

乳首が感じるんだったなっ

あう♡

乳首と一緒にらめえええ♡

はっ♡

はっ♡

ぎゅっ♡♡

ニクニク♡

ニクニク♡

ニクニク♡

ニクニク♡



はー♡

あっ♡

はー♡

はー♡

あっ♡あっ♡あっ♡

あう♡

あう♡

はー♡

はー♡

おかしくなっちゃうわっ

ぎゅっ♡♡

あん♡

あっ♡

すげええ締まるうっ!!

んんん...きもちいいいいよお











これで奏さんと一緒に証だねっ

どろろん

はあ♡

はああ

まだ出てくるっ♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

こんなの始めて…♡

はあ♡

はあ♡

これからずっとよろしくね





憎悪と愛は紙一重
恐怖と快樂紙一重である

修学旅行はまだはじまったばかり
最高の思い出になったに違いない

完

制作：合歡project

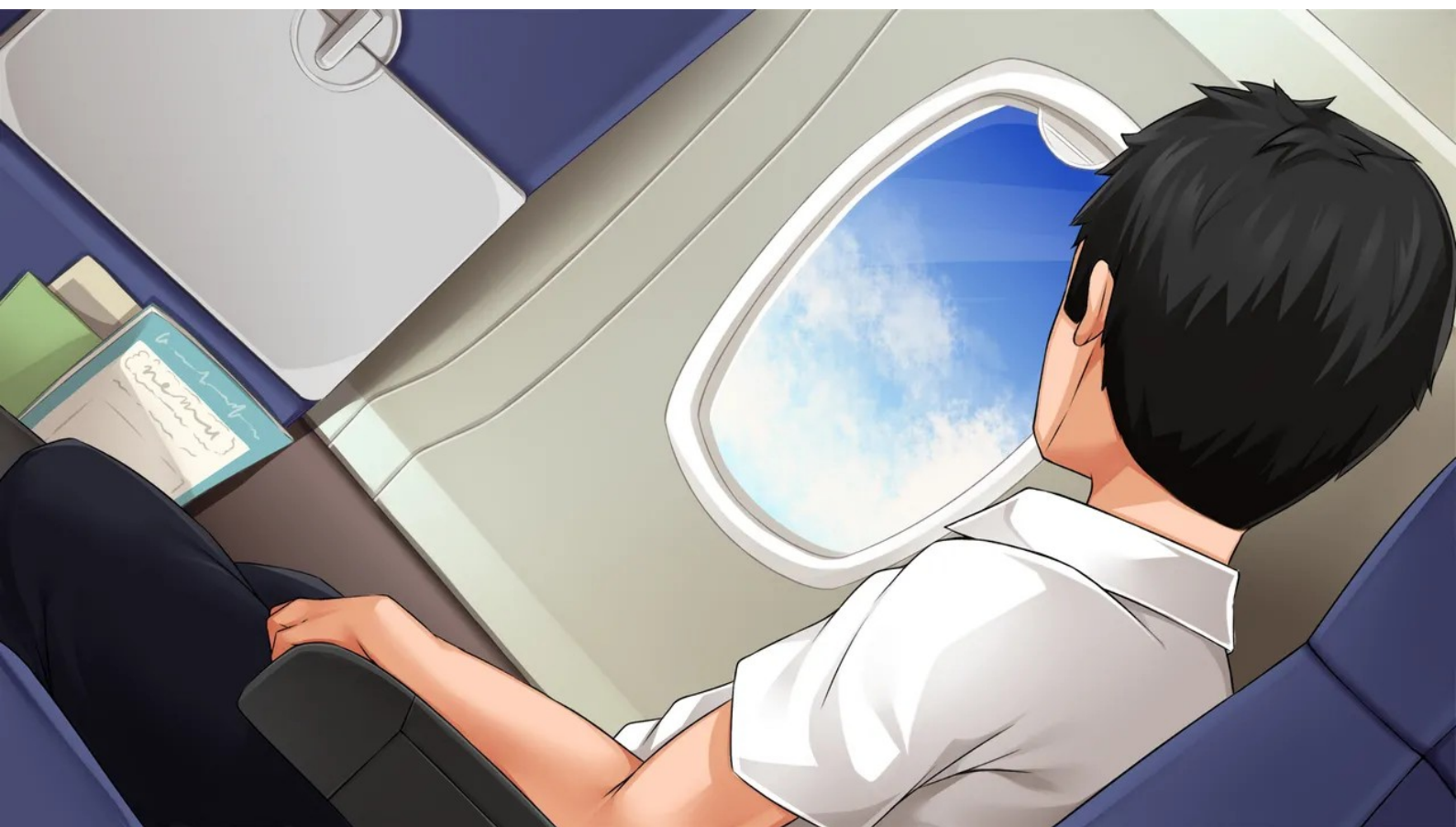
この作品の無断転載、複製、二次使用を禁止いたします





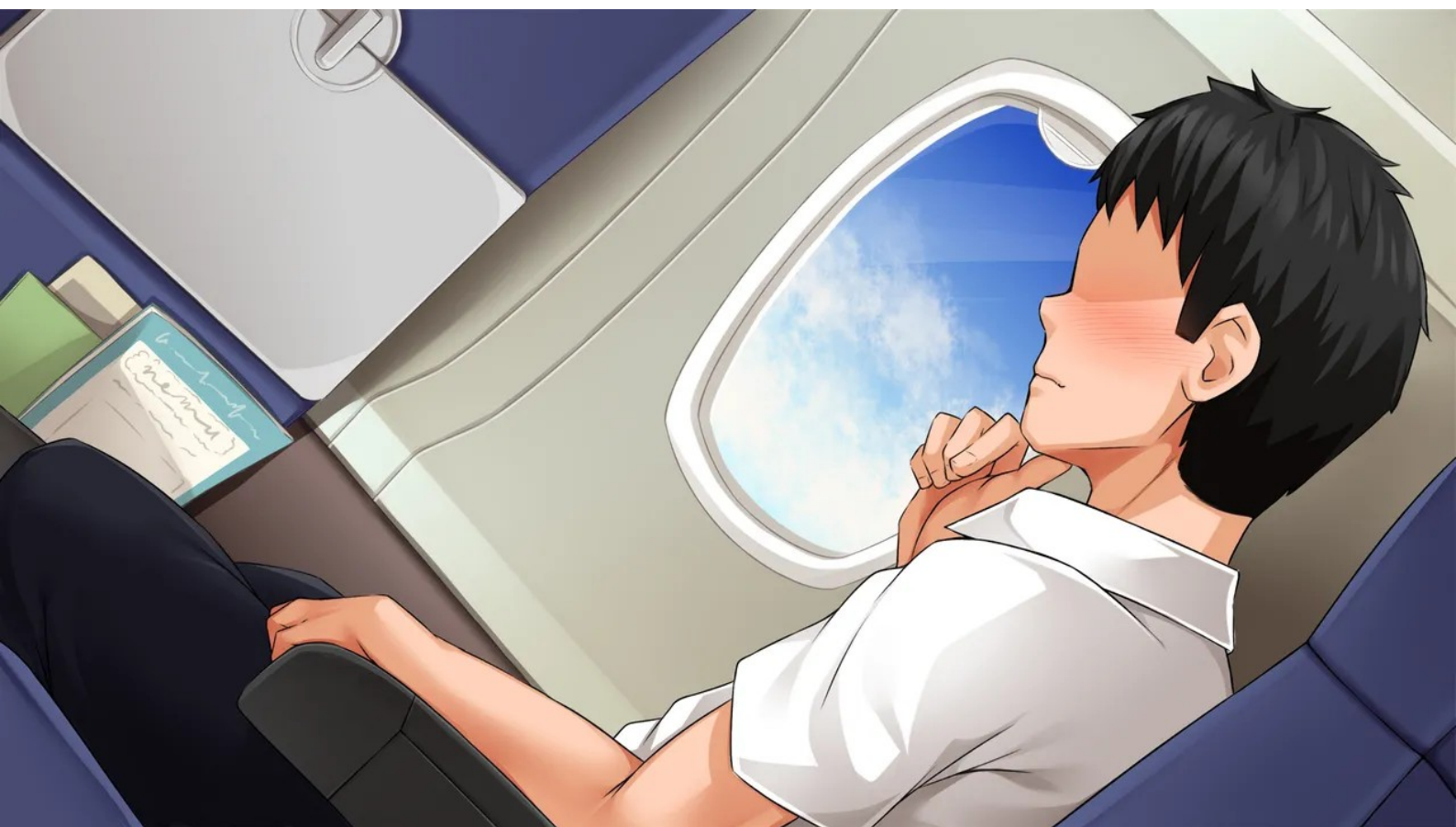


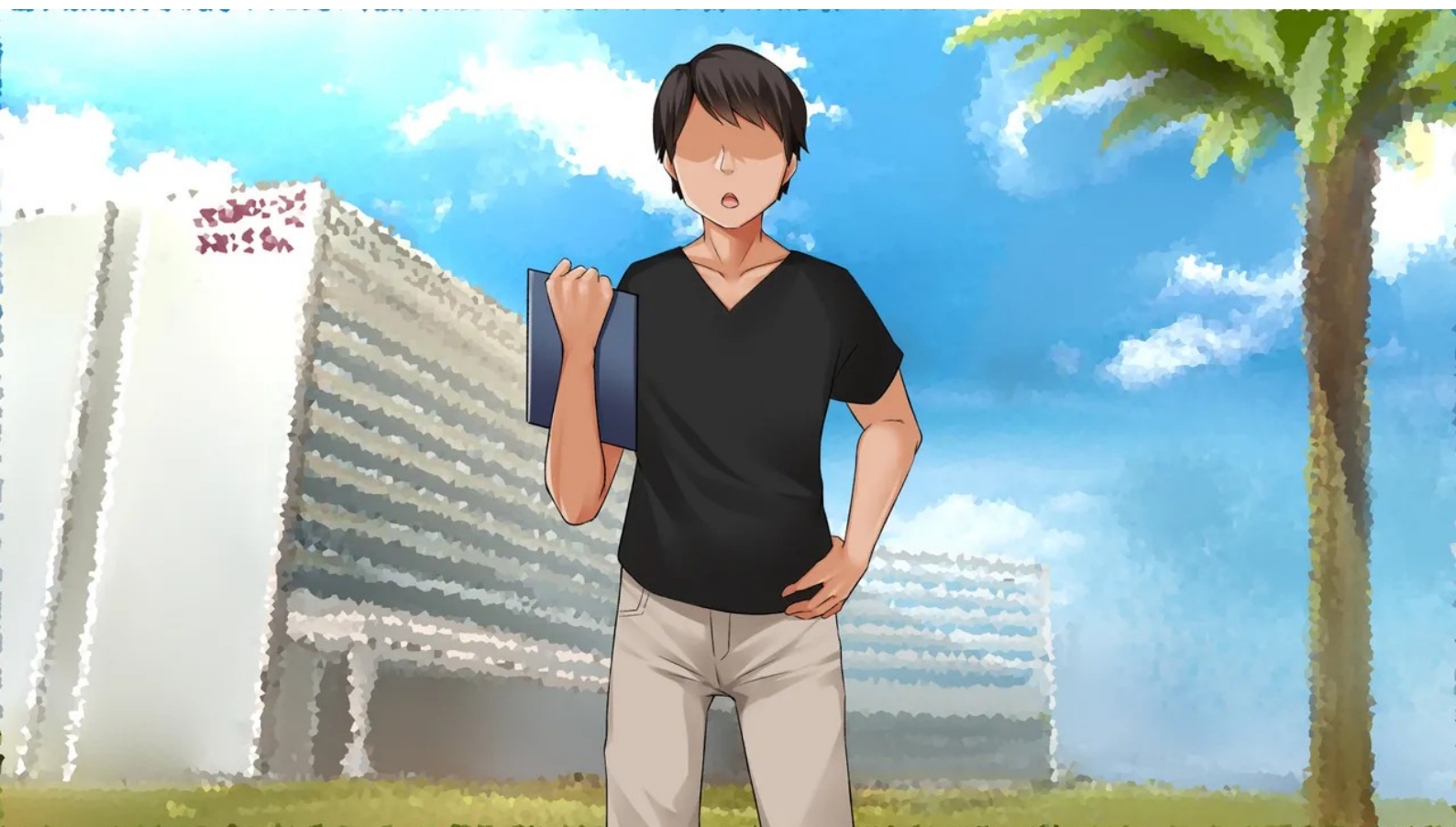




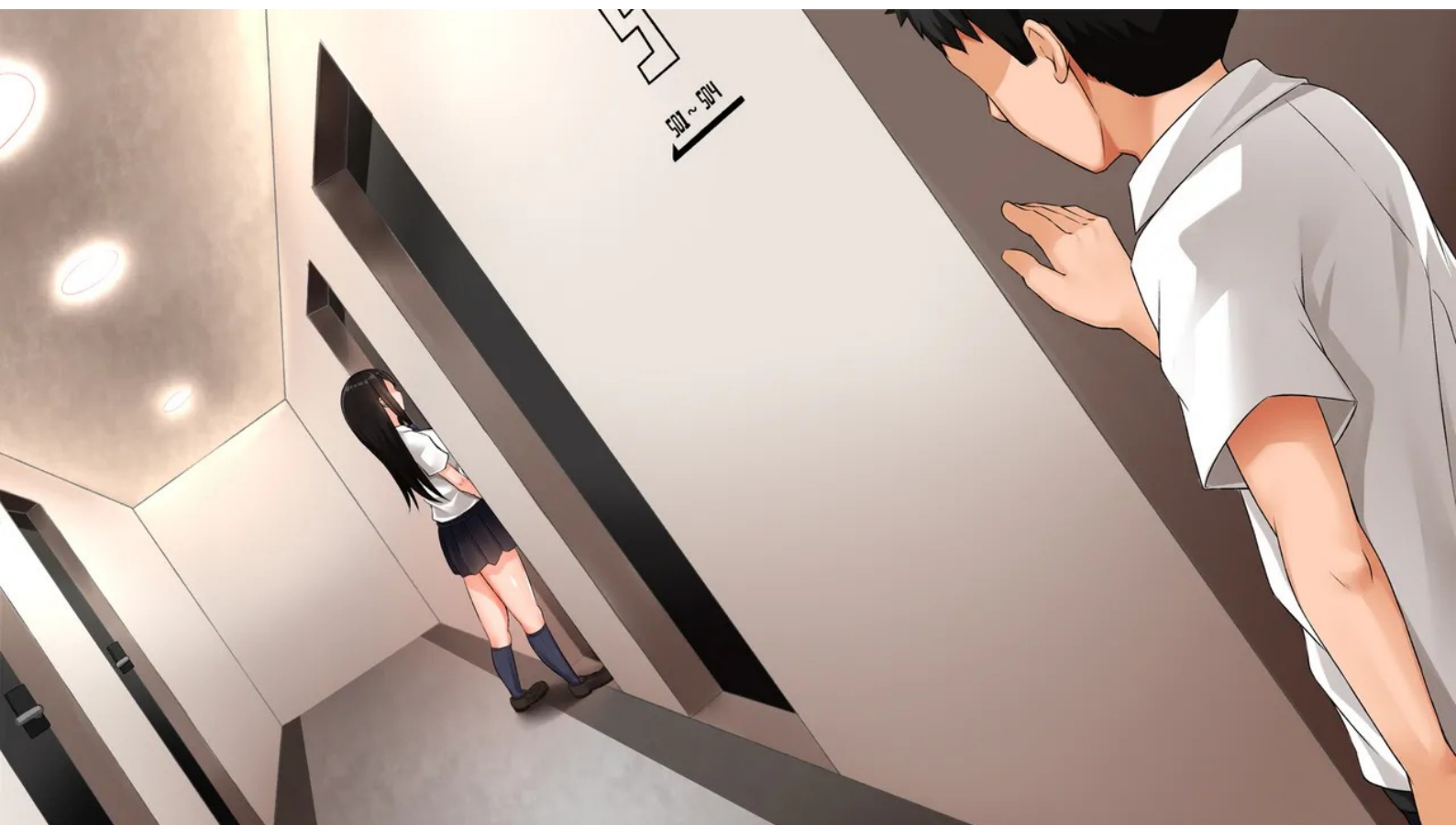








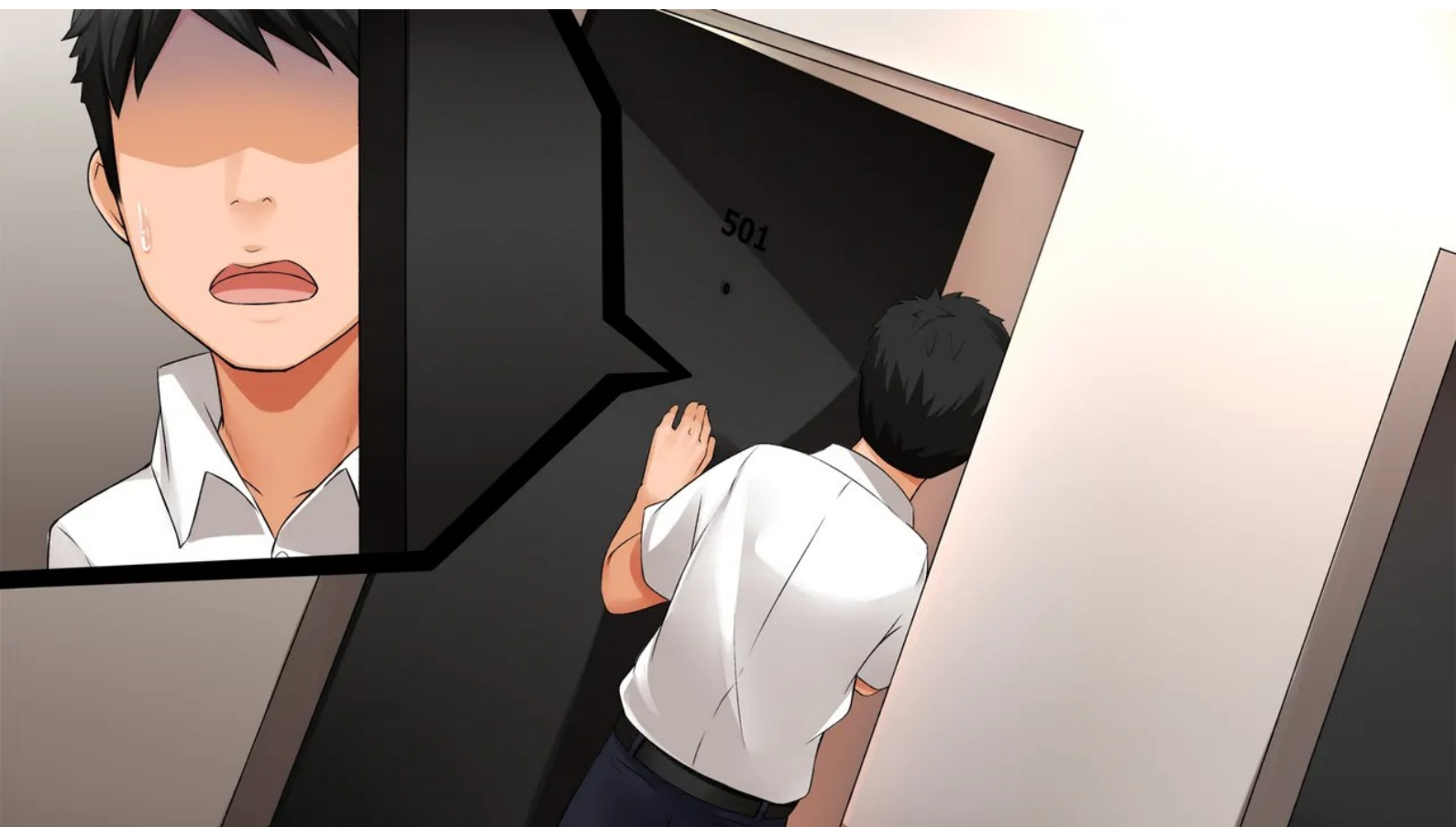












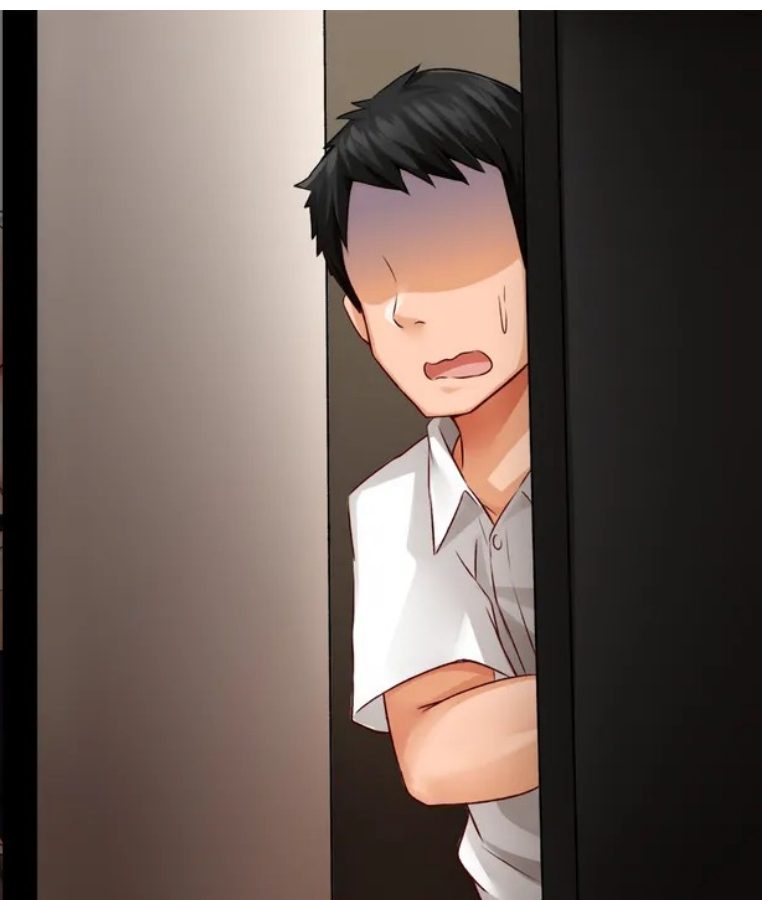


































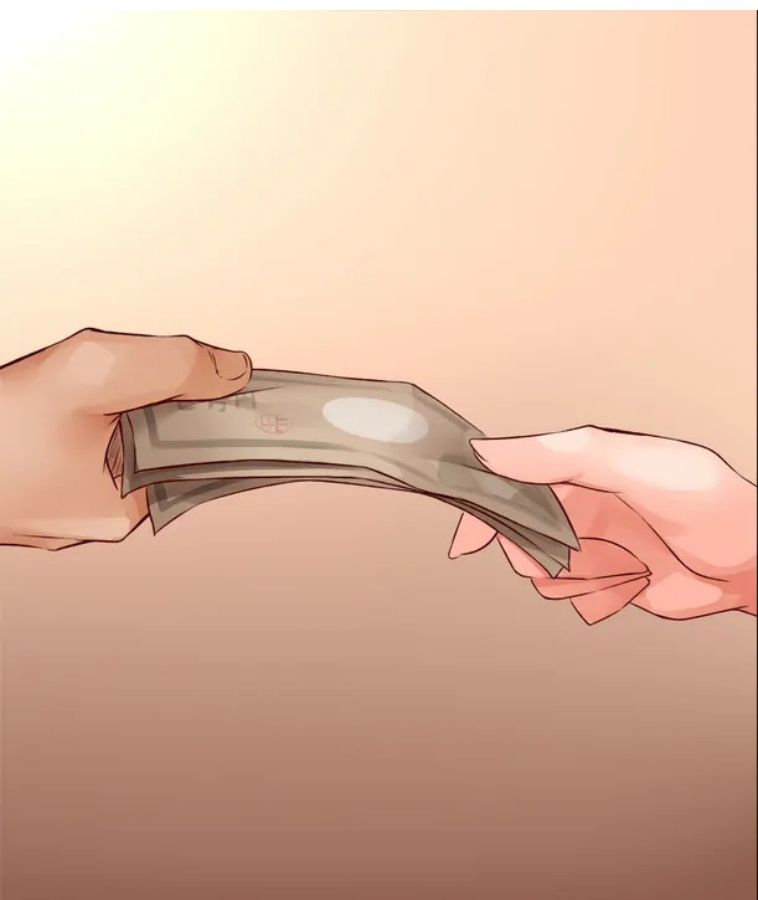






















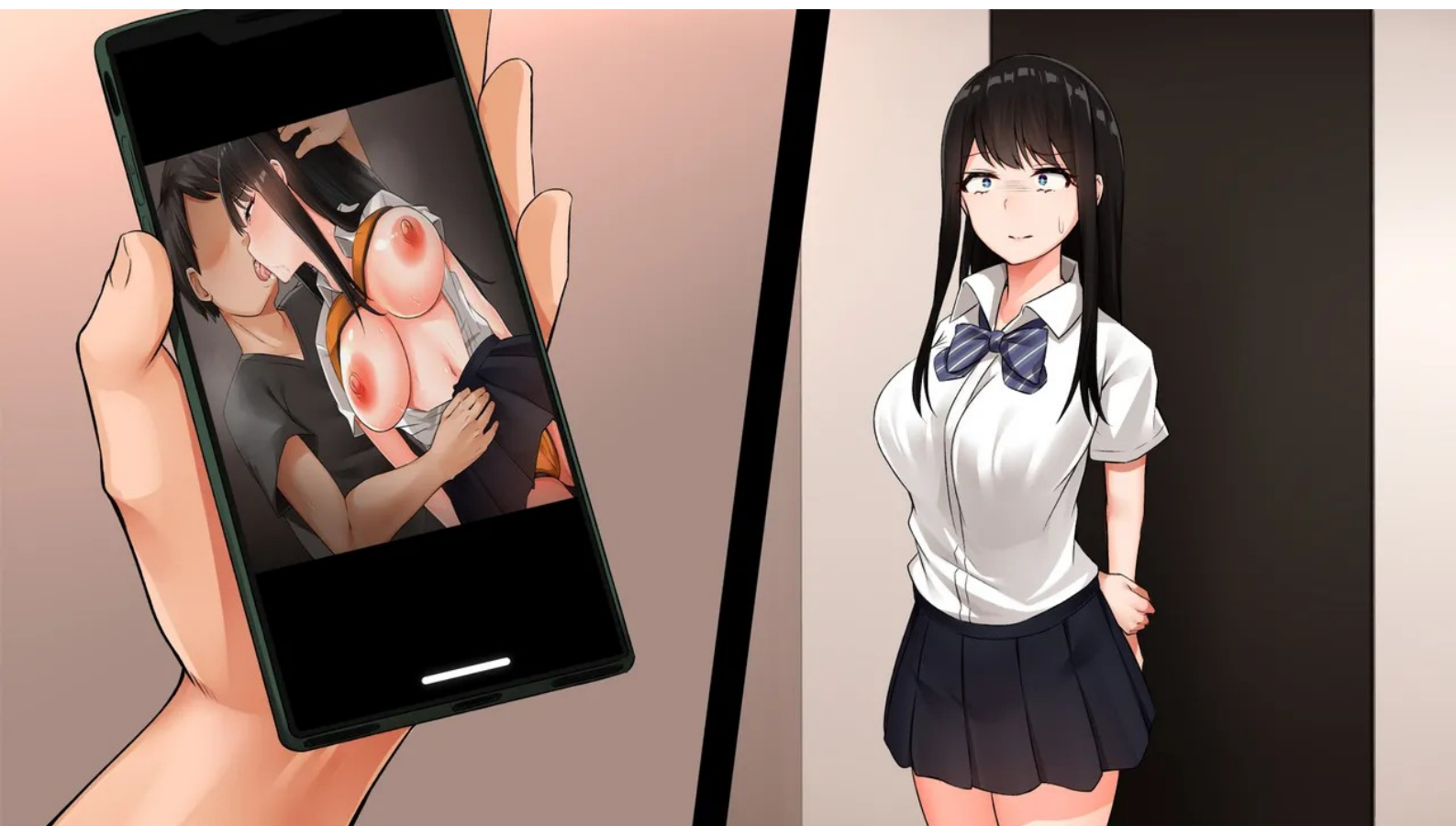


































































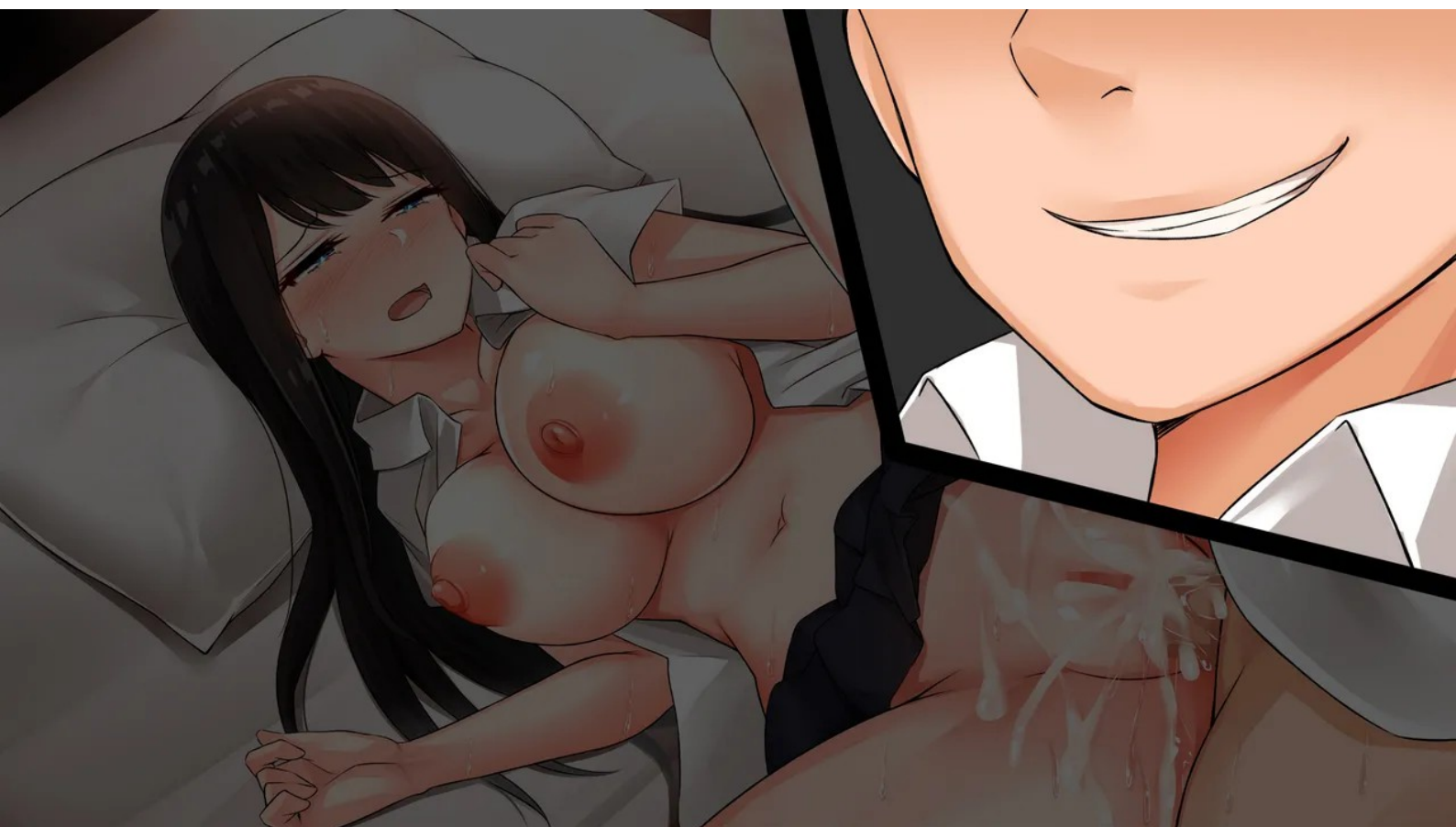












完

制作：合歡project

この作品の無断転載、複製、二次使用を禁止いたします

奏一華 (かなでいちか)

容姿端麗

そんな彼女にも誰にも
言えない秘密があった

才色兼備





修学旅行が最後のチャンス

告白しようと胸に誓う・・・

彼女の秘密を

奏さんと先生？
あれってキス!?

なんで先生と奏さんが!?

目撃してしまう・・・







純情な想いが生んだ

衝撃の行動とは？



寝取られた想いの行方は

レ●プ！？